

令和7年度 アオコ情報（河川 No. 6）

8月7日に実施した調査の結果についてお知らせします。

- フィコシアニン濃度※¹ は、新川及び備前川がアオコレベルで最大1相当※²、土浦沖合がアオコレベルで1相当でした。

新川、備前川及び土浦沖合のアオコレベル

<新川>

- ・ 神天橋及び新港橋でアオコレベル0相当（フィコシアニン濃度：22～29 µg/L）、新川河口沖でアオコレベル1相当（フィコシアニン濃度：77 µg/L）でした。

<備前川>

- ・ 岩田橋でアオコレベル0相当（フィコシアニン濃度：46 µg/L）、竹中橋及び備前川河口沖でアオコレベル1相当（フィコシアニン濃度：80～103 µg/L）でした。

<土浦沖合>

- ・ 土浦沖合①及び土浦沖合②でアオコレベル1相当（フィコシアニン濃度：82～98 µg/L）でした。

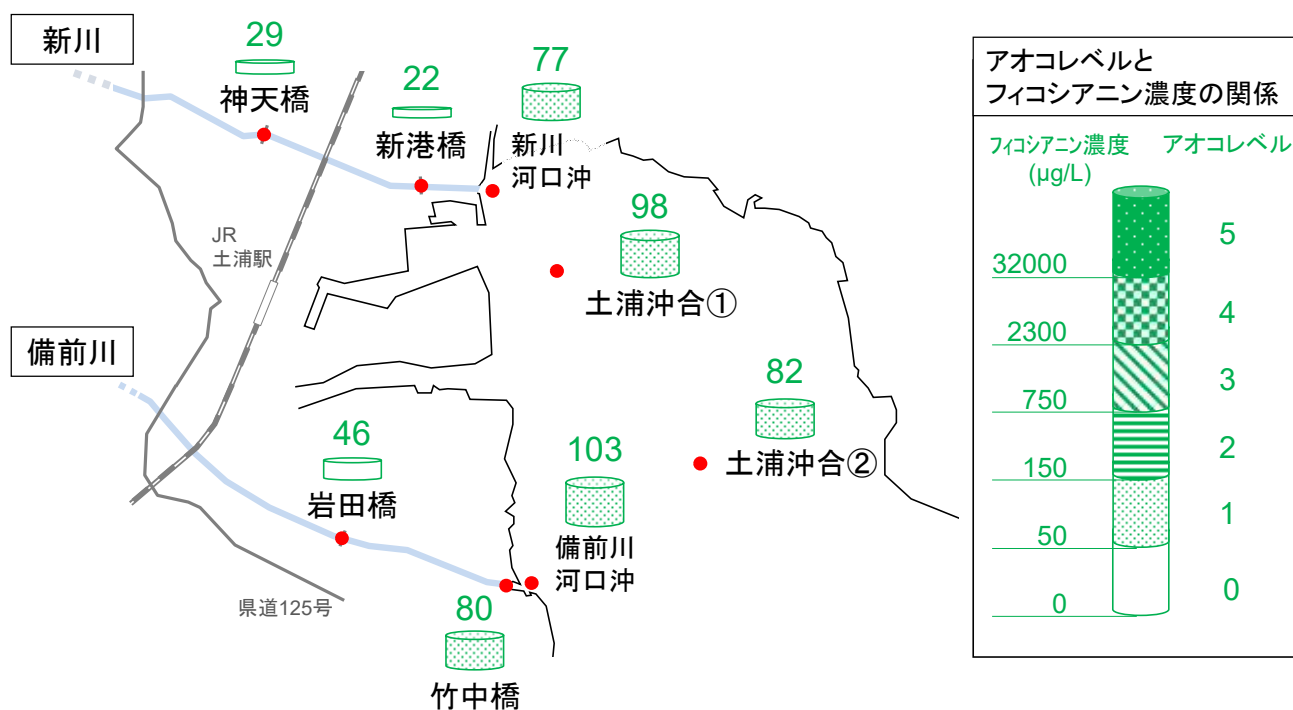


図1 フィコシアニン濃度の分布

※1 フィコシアニン

アオコの原因となる植物プランクトン（藍藻類）に含まれている色素です。フィコシアニン濃度はアオコの現存量と一定の相関があるため、アオコ現存量の目安になると考えられています。

※2 アオコレベル

アオコの発生状況を視覚的に把握するための指標です（参考：国土交通省霞ヶ浦河川事務所 HP: <http://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/kasumi00313.html>）。フィコシアニン濃度は、アオコレベル1で50 µg/L程度、アオコレベル2で150 µg/L程度、アオコレベル3で750 µg/L程度、アオコレベル4で2300 µg/L程度、アオコレベル5で32000 µg/L程度です（小日向ら、2012）。各レベルの写真は、別紙に掲載しています。

● 調査結果の詳細

表 調査結果

	新 川			備前川			土浦沖合	
	神天橋	新港橋	河口沖	岩田橋	竹中橋	河口沖	①	②
採水時刻	8月7日	8月7日	8月7日	8月7日	8月7日	8月7日	8月7日	8月7日
	9:58	10:17	9:32	10:33	10:45	9:12	9:22	9:16
水温(℃)	29.1	29.4	30.5	30.6	30.9	31.1	31.1	31.0
pH	8.3	7.9	8.7	8.0	8.1	8.4	8.8	8.6
EC (mS/m)	25.6	31.6	36.3	28.4	29.4	30.0	31.2	29.8
透視度 (cm)	32	33	25	18	23	15	28	26
フィコシアニン (μg/L)	29	22	77	46	80	103	98	82
クロロフィルa (μg/L)	40	60	76	77	77	72	67	56

● (参考) アオコレベル

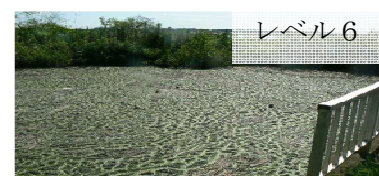
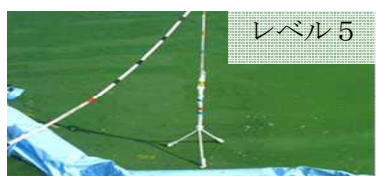
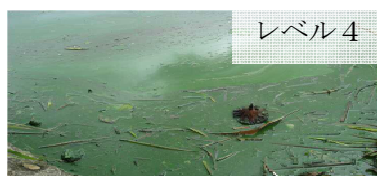
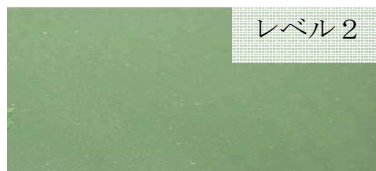
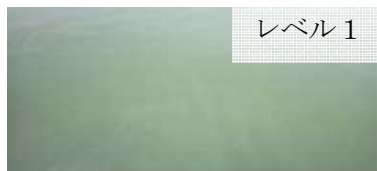


図2 アオコレベル